

※今月のみ受注の書目です。

経済史 ご担当者さま

慶應義塾大学産業研究所叢書

醸造業の展開と地方の工業化

近世・近代日本の地域経済 (2023 年 8 月下旬刊行予定)

井奥成彦 (慶應義塾大学名誉教授)・中西聡 (慶應義塾大学経済学部教授)[編著]

A5 判上製 / 480 頁 税込予価 9,350 円 ISBN978-4-7664-2908-4 C3333

👉 ココに注目!

- ・なぜ醸造業は近代から現代へと発展を続けているのか?
- ・醸造業が日本独自の産業化・工業化に果たした役割を明らかにする。

醸造業が近代日本の工業化に果たした役割を、経営や市場動向との関わりだけではなく、技術・教育・課税政策の分析や労働環境の研究、地域の中小醸造業者と地域経済との関係といった様々な視点から明らかにする。

対象 (日本経済史を専攻する) 研究者

類書 井奥成彦・中西聡編著『醤油醸造業と地域の工業化』(慶應義塾大学出版会)

【営業部からのおすすめポイント】

酒・醤油・味噌といった醸造業による製品は日本近代初期における工業製品の主役でしたが、その後も全国各地に広範に展開し、現代においては国内需要の減少を輸出拡大で対応しながら発展を続けています。本書は、この日本独自ともいえる醸造業の発展要因を経営・技術・労働・地域経済など多角的に分析します。 (乙子)

👉 主要目次、執筆者、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 問題の所在（井奥成彦）

第Ⅰ部 醸造業に関わる技術・教育・税制

第1章 明治前中期の酒造技術（青木隆浩）

第2章 戦前期日本酒造業にみる醸造教育とその意義（大島朋剛）

第Ⅰ部補論 明治初期における醤油税制の制定と廃止（石崎亜美）

第Ⅱ部 関東地域の醸造業の展開

第3章 江戸・東京における味噌生産と流通（岩淵令治）

第4章 近世における非農業雇用労働をめぐる一考察（谷本雅之）

第5章 近世前期、東京近郊の醤油醸造業と醤油業界（落合功）

第6章 在来産業の製品ポートフォリオ拡張と低級品市場（前田廉孝）

第7章 戦時期ヤマサ醤油における労働環境（三科仁伸）

第Ⅲ部 地方における醸造業の展開

第8章 青森県三戸郡・矢幅三次郎家の醤油醸造経営（花井俊介・小杉亮介）

第9章 青森県野辺地の酒造・味噌醤油醸造（中西聡）

第10章 近代北陸の醤油醸造業と片口屋（井奥成彦）

第11章 近代における愛知県半田小栗三郎家の経営理念（伊藤敏雄）

第12章 近代における愛知県知多地方のビール醸造業（橋口勝利）

終章 総括と展望（中西聡）

あとがき（三科仁伸・前田廉孝）

【執筆者】

青木隆浩 国立歴史民俗博物館教授

大島朋剛 神奈川大学経済学部教授

石崎亜美 国立公文書館

谷本雅之 東京大学経済学部教授

前田廉孝 慶應義塾大学文学部教授

三科仁伸 国土館大学商学部教授

岩淵令治 学習院女子大学教授

落合 功 青山学院大学経済学部教授

花井俊介 早稲田大学商学部教授

小杉亮介 三菱経済研究所専任研究員

伊藤敏雄 帝塚山大学教授

橋口勝利 慶應義塾大学経済学部教授



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			井奥成彦・中西聡 編著 慶應義塾大学産業研究所叢書 醸造業の展開と地方の工業化 —近世・近代日本の地域経済— ISBN978-4-7664-2908-4 C3333		

★1つで「500部」を表します